

# 第77回 日本皮膚科学会 西部支部学術大会

会期 2025年10月18日<sup>土</sup>・19日<sup>日</sup>

会場 岡山コンベンションセンター

(ママカリフォーラム) 岡山県岡山市北区駅元町14番1号

会長 青山 裕美 [川崎医科大学  
皮膚科学教室 教授]

## 疑問を感じ、考える皮膚科学



### 演題募集のご案内

募集期間

2025年4月8日<sup>火</sup>正午～5月20日<sup>火</sup>正午

オンライン受付にて募集 / 詳しくは... ▶ <https://wjda77.jda-conv.jp/>



# 疑問を感じ、考える皮膚科学

第77回日本皮膚科学会西部支部学術大会  
会長 青山 裕美  
川崎医科大学皮膚科学教室 教授



皆様

第77回日本皮膚科学会西部支部学術大会へようこそ。

本大会は、2025年10月18日(土)～19日(日)の2日間、JR岡山駅直結の岡山コンベンションセンターにて開催いたします。

今回の学会のテーマは「疑問を感じ、考える皮膚科学」です。私たちは日々の皮膚科診療の中で、多くの疑問に直面します。その疑問を言葉にし、考え、さらに検証し、修正していく—この過程こそが学問の本質であり、進歩への道です。皆様を感じた疑問や考えをぜひこの場で発表し、自由に討論していただければと思います。正解にこだわるよりも、議論を通じて「なるほど、そういうことか」と新たな気づきを得る瞬間に、学問の楽しさがあると感じています。エキスパートとの意見交換こそ、学会ならではの醍醐味です。

シンポジウムや教育講演では、病理、アレルギー、自己免疫、悪性腫瘍、感染症、膠原病、キャリア形成など、多角的な視点から様々なトピックを取り上げます。皆様にとって、多くの学びと発見があることを期待しています。

また、文化講演では、元ラグビー日本代表ロックの大野均氏をお招きします。ラグビーを通じたチーム医療の大切さに結びつく非常に有意義な講演をいただけることと思います。

さらに、リラックスした瀬戸内の雰囲気味わっていただくため、会員懇親会は夕方のカクテルパーティー形式で行います。シンガーソングライターの福島節さんによる心癒やされるライブコンサートもご用意しておりますので、どうぞお楽しみください。

岡山(倉敷児島)は「ジーンズの聖地」として知られていることから、ドレスコードをデニムに設定いたしました。発表者、座長、企業の皆様を含め、すべての参加者の方々にデニムでご参加いただければと思います。もちろん、運営スタッフおよび川崎医科大学皮膚科教室のメンバーも全員デニムで参加いたします。さらに、特別企画としてベストドレッサー賞もご用意しておりますので、ぜひお楽しみに!

皆様とともに、充実した学会となることを心より願っております。どうぞよろしく  
お願いいたします。

2024年9月



# 学術大会概要

## 開催概要

学会名称 第77回日本皮膚科学会西部支部学術大会  
会期 2025年(令和7年)10月18日(土)・19日(日)  
会場 岡山コンベンションセンター(ママカリフォーラム) 〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町14番1号  
テーマ 疑問を感じ、考える皮膚科学  
ドレスコード デニム(ジーンズ、ジャケット、シャツ、その他デニムの小物などの着用でも可)  
会長 青山 裕美(川崎医科大学皮膚科学教室 教授)  
事務局 田中 了(川崎医科大学皮膚科学教室)  
事務局 川崎医科大学皮膚科学教室 〒701-0192 岡山県倉敷市松島577 TEL:086-462-1111  
運営事務局 ※最終ページ(お問い合わせ先)をご覧ください。

## プログラム(予定)

※講演タイトルなど、変更となる可能性があります。  
下記以外に、スポンサードシンポジウム、スポンサードセミナー、企業展示などを予定しております。

特別講演	ウイルスの再活性化と自己免疫疾患 演者：荒瀬 尚(大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 免疫化学研究室 教授)
文化講演	弱小チームからワールドカップで勝つまで 演者：大野 均(ジャパンラグビーリーグワン東芝ブレイブルーパス東京アンバサダー、元ラグビー日本代表)
会長企画	われわれは、疾患の運命を変えることができるのか ① アトピー性皮膚炎は治せるのか 演者：梶島 健治(京都大学) ② 天疱瘡は治せるのか 演者：高橋 勇人(慶應義塾大学) ③ 重症薬疹を止められるのか 演者：阿部 理一郎(新潟大学)
シンポジウム オーガナイザー：青山 裕美	「スキンバリアの制御機構」 ① 角層におけるスキンバリアの制御機構 演者：波多野 豊(大分大学) ② 汗によるスキンバリアの制御機構 演者：青山 裕美(川崎医科大学) ③ 免疫によるスキンバリアの制御機構(アトピー性皮膚炎と接触皮膚炎) 演者：江川 形平(鹿児島大学) ④ 感染を制御するスキンバリア機構 演者：山本 剛伸(川崎医科大学)
シンポジウム オーガナイザー：田中 了	「症例を通して考えよう ガイドラインの先にある皮膚悪性腫瘍診療」 ① 悪性黒色腫 演者：持田 耕介(宮崎大学) ② 乳房外パジェット病 演者：菅 崇暢(広島大学) ③ メルケル細胞癌 演者：永瀬 浩太郎(ながせ皮膚科) ④ 「ケースバイケース」に対応する 演者：田中 了(川崎医科大学)
シンポジウム オーガナイザー：山本 剛伸	「ウイルスと皮膚疾患の不思議な関係を考える」 ① DIHSとヘルペスウイルス 演者：山本 剛伸(川崎医科大学) ② 悪性リンパ腫とEBウイルス 演者：平井 陽至(岡山大学) ③ 薬剤により誘発される帯状疱疹 演者：今福 信一(福岡大学) ④ カボジ肉腫とHHV-8 演者：山口 さやか(琉球大学) ⑤ COVID-19と皮膚疾患 演者：杉山 聖子(川崎医科大学)
シンポジウム オーガナイザー：杉山 聖子	「自己免疫性水疱症の診断と治療—疑問を感じ考えて理解を深めよう—」 ① 基底膜接着構造に関連した自己免疫性水疱症の診断 演者：大日 輝記(香川大学) ② 血清学的診断の実際と解釈 演者：石井 文人(久留米大学) ③ 治療困難例から学ぶこと 演者：杉山 聖子(川崎医科大学) ④ これからの治療の展望：基本からバイオまで 演者：岩田 浩明(岐阜大学)
シンポジウム オーガナイザー：深松 紘子	「膠原病の疑問に迫る 皮膚科医が知っておきたい膠原病診療」 ① SLE治療はどう変わったのか? 演者：守田 吉孝(川崎医科大学総合医療センター 内科) ② 全身性強皮症 病態から治療まで 演者：牧野 雄成(熊本大学) ③ 膠原病・血管炎にともなう皮膚潰瘍 明日から役立つ治療の選択肢 演者：宮城 拓也(琉球大学) ④ シェーグレン症候群 多彩な臨床像をどう理解するか? 演者：深松 紘子(川崎医科大学)



# 疑問を感じ、考える皮膚科学

シンポジウム オーガナイザー：馬屋原 孝恒	「バイオ・JAKの使い分け」 アトピー性皮膚炎（JAK阻害薬 vs バイオ） JAK阻害薬 演者：武岡 伸太郎（武岡皮膚科クリニック） バイオ 演者：柳瀬 哲至（紙屋町やせ皮膚科クリニック） 尋常性乾癬（IL-17 vs IL-23） IL-17系 演者：馬屋原 孝恒（川崎医科大学） IL-23系 演者：宮城 拓也（琉球大学）
教育講演	① 顔面紅斑の見方 演者：林 宏明（はやし皮膚科クリニック） ② Snap diagnosis 外来診療を楽しむ秘訣 演者：内田 隆文（うちだ皮膚科クリニック） ③ 「美容皮膚科のプロフェッショナリズム：専門医の確かな知識と技術が患者を守る」 演者：皮膚科専門医 小林 美和（こばやし皮膚科クリニック） 形成外科専門医 田中 伸吾（たなかクリニック） ④ 悪性腫瘍の臨床研究の組み方 演者：中村 泰大（埼玉医科大学国際医療センター） ⑤ 脱毛症 演者：下村 裕（山口大学） ⑥ じんま疹・アレルギー 演者：千貫 祐子（島根大学） ⑦ 下腿の発赤腫脹・浮腫の見方 演者：山崎 修（島根大学） ⑧ 皮膚科医が診る病理 病理医が診る病理 1. 炎症性疾患 皮膚科医：田中 麻衣子（県立広島病院） 病理医：塩見 達志（川崎医科大学病理学） 2. 腫瘍性疾患 皮膚科医：加来 洋（久留米大学） 病理医：塩見 達志（川崎医科大学病理学） ⑨ 病理の勉強の仕方 演者：泉 美貴（昭和大学医学部 医学教育学講座） ⑩ 皮膚科医療の未来に疑問を感じて考える 1. 皮膚科領域を守る診療 演者：大日 輝記（香川大学） 2. 皮膚科領域を守る専門医制度 演者：室田 浩之（長崎大学） ⑪ 近未来の皮膚科学－異分野融合による新たな挑戦 1. AIを用いた微細構造分析で皮膚バリアを評価する 演者：中元 健太（川崎医科大学） 2. 数理モデルで挑むじんましんの謎 演者：高萩 俊輔（JA広島総合病院）
専門医機構 共通講習	医療安全 演者：山口 道也（山口大学） 感染対策 演者：大石 智洋（川崎医科大学 臨床感染症学） 医療倫理 演者：向井 知之（川崎医科大学 免疫学）
西部支部企画 研修講習会	2025年日本皮膚科学会西部支部企画研修講習会「疑問を感じ、考える薬剤関連有害事象」 日時：2025年10月17日（金）16:00～18:00（予定） 重症薬疹の診断とマネジメント 演者：濱 菜摘（新潟大） irAEの適切なマネジメントのために求められていること 演者：峯村 信嘉（三井記念病院総合内科）
専門医指導医講習会	日時：10月19日（日）13:20～14:20 演者：今福 信一（福岡大学）、山口 由衣（横浜市立大学）
皮膚疾患ケア看護師交流会プログラム	レクチャーテーマ：痤瘡 演者：岡 大五（岡皮膚科医院）
ハンズオンセミナー	顕微鏡ハンズオンセミナー「真菌」 日時：10月18日（土）10:30～12:00 チームで推進する外用指導 ハンズオンセミナー （看護師、薬剤師対象） 日時：10月19日（日）13:20～15:20

## 総会および委員会（予定）

西部支部運営委員会	日時：10月17日（金）16:00～17:00
西部支部総会（代議員会）	日時：10月17日（金）17:00～18:00
第78回日本皮膚科学会 西部支部プログラム委員会	日時：10月18日（土）12:20～13:20
西部支部社会保険委員会	日時：10月19日（日）12:20～13:20

## カクテルパーティーについて

日時：10月18日（土）夕方～（予定）  
会場：岡山コンベンションセンター内（夜の懇親会はございません）  
ゲスト：福島 節（直島在住のシンガーソングライター、  
音楽プロデューサー、ongakushitsu inc）

## 宿泊・託児所について

会期中の宿泊お申込みご案内（6月下旬頃公開予定）、託児所（会場内併設）の詳細は、大会Webサイト※にて順次ご案内いたします。  
※大会Webサイト <https://wjda77.jda-conv.jp/>

# 演題募集要項

## 演題募集

一般演題を公募いたします。多数の皆様のご出題、ご参加をお待ちしております。

本学会では、すべての一般演題で、口演発表とポスター展示を行っていただきます。  
ポスター発表とポスター賞もごさいますので、奮ってご応募ください。

## トピックス

本大会では、病理中心演題のdiscussionを活発にするため、  
病理医にもご参加いただく一般演題セッションを設定します。

- ①「疑問を感じて考える」をスローガンにしましたので、是非皆様が、疑問を感じて考えたことを含めて発表してください。一般演題セッションにコメンテーターを指定するような企画にしますので、エキスパートのコメントが必要な症例（診断困難例や治療困難例）の発表も歓迎します。
- ②特に水疱症のセッションでは、診断困難例、難治例／合併症のマネージメントをエキスパートと共に考えましょう。治療に難渋した症例と診断に悩んだ症例を募集しています。

## 登録受付期間

2025年4月8日(火) 正午～5月20日(火) 正午

受付は、インターネットによるオンライン演題応募を原則とさせていただきます。

## 応募資格

会員以外でも演題登録が可能です。  
また、ご応募いただける演題数に制限はありません。

本大会では、口演発表は現地にご来場の上、会場にてご発表いただく形式となります。オンライン形式での発表は予定しておりませんので、ご了承ください。

## 一般演題（公募）応募登録要領

### ◆抄録規定

- 登録文字数：演題名（60文字以内）、演者名、所属機関名、抄録本文（400文字以内）を合わせて550文字以内
- 発表者名：共同演者を含めて最大15名まで
- 所属機関名：最大8施設まで

- ◆演題発表区分 ※発汗異常症のカテゴリを新設しました。  
希望する発表区分を【カテゴリー1】【カテゴリー2】よりそれぞれ1つ選んで応募してください。

### お知らせ

顕微鏡ハンズオンセミナー「真菌」の参加者は、できるだけ一般演題の発表時間と重ならないように調整いたしますので、一般演題への応募も歓迎します。万一、やむを得ず重なってしまう場合は、どちらを優先するか、あるいは一時的に抜けるかについて、改めてご相談させていただきます。

### カテゴリー 1

A	湿疹・皮膚炎	G	薬疹・中毒疹	M	腫瘍
B	蕁麻疹・痒疹	H	角化症・炎症性角化症	N	母斑・形成異常
C	紅斑症	I	水疱症・膿疱症	O	感染症
D	血管炎・循環障害・フットケア	J	代謝異常	P	発汗異常症
E	膠原病	K	色素異常	Q	基礎研究
F	物理的・化学的障害	L	肉芽腫	R	その他

### カテゴリー 2

1	診断（病理）	2	診断（その他）	3	治療	4	研究	5	その他
---	--------	---	---------	---	----	---	----	---	-----

## ◆発表形式

本学会では、すべての一般演題で口演発表とポスター展示を行っていただきます。

口演発表は、発表5分・質疑2分、合わせて7分の予定です。

※口演時間につきましては登録演題数により多少の変更の可能性があります。

正式な時間は採否通知の際にご連絡いたします。

## 応募方法

下記の第77回日本皮膚科学会西部支部学術大会Webサイトよりご応募ください。

学術大会Webサイト：<https://wjda77.jda-conv.jp/>



## ◆登録について

- 登録には、必ずご本人に連絡がつく電子メールアドレスが必要です。  
なお、Gmailのメールアドレスをご登録いただくと、演題登録システムからの確認メールが届かない事象が頻発しておりますので、Gmail以外のメールアドレスをご登録ください。
- ご使用になるコンピュータ環境によっては当サイトから登録できない可能性があります。  
(ローカルネットへの外部からの侵入を防ぐためにファイアウォールが設定されている場合など)
- 演題登録完了後、UMIN事務局より受領通知が自動的に電子メールにて配信されますので、電子メールを必ずご確認ください。受領通知メールが配信されない場合は以下の問題が考えられます。  
※電子メールが返信されない場合（Gmailのメールアドレスは使用しないようお願いいたします）  
A. 登録が正常に完了されていない（登録ができていない）。  
→再度手順に従って登録してください。  
B. 電子メールアドレスの入力が間違っている（登録自体は完了している）。  
→登録は正常に完了されておりますので、再度登録を行うと重複登録の原因となります。  
返信がされない場合にはBの可能性もございますので、再登録を行う前に必ず【確認・修正画面】にて登録がなされていないかご確認ください。
- 受領通知メールが届かない場合、必ず締切日までに運営事務局（wjda77@dermatol.or.jp）まで登録の有無をご確認ください。
- UMINオンライン演題登録システムでは、下記のブラウザが使用可能となります。  
それ以外のブラウザはご利用にならないようお願いいたします。  
【ご利用可能なブラウザ】 Firefox、Google Chrome、Microsoft Edge、Safari

## ◆入力の前に

- 演題処理では、ご本人が登録されたデータをそのまま使用します。  
ミスタイプには充分ご注意ください。
- 締切後の原稿の変更は、共同演者の追加・変更も含め一切お受けすることができません。  
詳細な確認をいただきますようお願いいたします。

## 採否通知

採否通知は受領通知に付記される登録番号をもって、7月上旬頃より大会Webサイトにて公開する予定です。  
演題の採択及び発表時間、発表形式、発表カテゴリー等は事務局に一任ください。

お問い合わせ先  
(運営事務局)

第77回日本皮膚科学会西部支部学術大会 運営事務局  
公益社団法人 日本皮膚科学会 大会運営部 運営チーム 担当：山本  
〒113-0033 東京都文京区本郷4-1-4 TEL：03-3811-5079 FAX：03-3812-6790  
E-mail：wjda77@dermatol.or.jp



多数のご応募、  
お待ちしております！

事務局長：田中 了  
事務局：川崎医科大学皮膚科学教室  
〒701-0192 岡山県倉敷市松島577

運営事務局：公益社団法人日本皮膚科学会内  
大会運営部 運営チーム  
〒113-0033 東京都文京区本郷4-1-4  
TEL：03-3811-5079 / FAX：03-3812-6790



URL: <https://wjda77.jda-conv.jp/>

E-mail: [wjda77@dermatol.or.jp](mailto:wjda77@dermatol.or.jp)